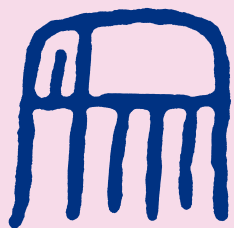


2015.2 NO.60

# 同窓會報



〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6  
京都市立芸術大学美術学部同窓会 象の会  
発行人：同窓会会長 上村 淳之  
TEL/FAX 075-334-2218  
携帯 /090-7353-6999  
http://www.kyogei-ob.jp  
E-mail info@kyogei-ob.jp



## 夢のような日々

### —京都市立芸術大学を離れるにあたって

京都市立芸術大学 学長 建島 哲

京都芸大の学長に推薦されたのは私にとってまさに青天の霹靂ともいべき出来事でしたが、以来4年余りの年月があつという間にたってしまいました。ありとあらゆる仕事押し寄せてきた何とも慌ただしい、しかし離職した後に顧みるならば、きっと夢の日々ようでもあるに違いない、わが人生の中の不思議な時期であったように思います。

大学移転という大プロジェクトが学内の合意のもとに、また市民の皆さんの支持を受けながら動き始めたこと、芸術資源研究センターという小規模ながらユニークな施設がスタートしたことなどはうれしい話題で、間違いなく本学の将来の発展の礎になることでしょう。もっとも私はたまたまそのタイミングに学長として居合わせたに過ぎず、功績を自慢する資格などはないのですが。

個人的に他に得難い体験であったのは、なんといっても同窓会の皆様や学内の先生方、そして学生たちなど、京都を代表する巨匠から気鋭の新人に至るまでの数多くのアーティストや研究者の方々と、さまざまな機会に親密に交流させていただく

とができたことです。あまりの忙しさで文筆業の方は半ば諦めざるをえませんでした。今後は多少は時間の自由をえて、そうした京都芸大での貴重な思い出の数々を評論などに生かすことができるのではないかと楽しみにしています。同窓会の本学へのあたたかいご支援、本当にありがとうございました。



## Head line

|                                           |   |
|-------------------------------------------|---|
| 夢のような日々.....                              | 1 |
| 京都市立芸術大学美術学部同窓会展.....                     | 2 |
| 「同窓生名簿 2015」発行のお知らせと<br>登録データ確認のお願い ..... | 2 |
| 「同窓会象の会 総会」のご案内と<br>出席のお願い .....          | 3 |
| 「京都芸大同窓会アートフェア 2016」<br>の開催概要について .....   | 3 |
| 同窓生だより.....                               | 4 |

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 研究室だより.....           | 6  |
| 日本画研究室<br>油画の院ゼミ      |    |
| 会員展覧会.....            | 8  |
| 退任あいさつ.....           | 9  |
| 2014 年度芸大祭「象の店」 ..... | 10 |
| 資料（学内消息） .....        | 11 |
| 事務局だより.....           | 12 |
| 編集後記.....             | 12 |

## 京都市立芸術大学美術学部同窓会展

### 「移転と改革 - 1970 年代を中心に」

1970 年 3 月、「大学とは本来何であるか」という大学の理念に対する本質的な問いに始まる「京都市立芸術大学美術学部の改革のための案」が作成されました。「大学の理念」、「学生参加に関する案」、「学制改革に関する案」の 3 章で構成されたこの改革案は、「大学とは研究・教育という目的によって結ばれた教員・職員および学生からなる共同体である」という前提に基づき、既存の各科・各専攻枠を撤廃して、教員および学生を個に還元し、さらにこれらの個が相互批判によって、芸術・学問についての視野を拡げ、その研究を深めうるような組織にすることを目指したものです。

本展では、この改革案が作成された 1970 年から「学制改革に関する案」が改訂されて新カリキュラムが施行される 1980 年まで、10 年間にわたり改革案の試行が行われたこの時期に、京都市立芸術大学にて教鞭をとった教員や学生たちの作品を展覽いたします。すべての新生入生が 1 年次前期の半年間、所属の科・専攻に関係なく専門分野の枠をこえて課題に取り組む「総合基礎実技」の前身となる実技カリキュラムが導入されるなど、さまざまな表現領域に触れることのできる新たな環境のもとで生み出されていた作品には、豊かな社会が現実のものとなり他者との差異化、個性的

—記念講演:木村重信（京都市立芸術大学名誉教授）—

### 《多くの方の聴講を大歓迎》

な消費という趣向の変換がみられた 1970 年代の社会背景も見取ることができることでしょう。ぜひご高覧ください。

#### 【展覧会概要】

会 期:2015 年 2 月 14 日(土)～3 月 1 日(日)

11:00～19:00(最終入場 18:30 まで・月曜日休館)

会 場:京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

主 催:京都市立芸術大学、京都市立芸術大学美術学部同窓会

問合せ:京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

TEL:075-253-1509

WEB:<http://gallery.kcuu.ac.jp>

#### 【関連イベント】

日 時:2015 年 2 月 14 日(土)

13:30～14:40 記念講演「京都市立芸大・激動の 1970 年代」

14:45～15:00 オープニング式典

15:00～16:00 ギャラリートーク

16:00～ オープニングレセプション

## 「同窓生名簿 2015」発行のお知らせと登録データ確認のお願い

会報 NO.59 でお知らせしましたとおり、「同窓生名簿 2015」を本年 7 月に発行いたします。同窓会では、5 年ごとに同窓生名簿を改訂して発行してきておりますが、今回も個人情報保護に留意しながら、情報量の豊富な同窓生に役立つ名簿づくりを目標にしています。

同窓会活動の趣旨をご理解賜わり、同窓生各位のご賛同とご協力をお願い申し上げますとともに一人でも多くの方に購入のご協力をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

なお、同窓会象の会では個人情報の取り扱いについてガイドライン(案)を作成し、同窓会ホームページに掲載しています。

#### ●「同窓生名簿 2015」の概要

- ・1880 年に京都府画学校として開校以来、2015 年春の入学までの同窓生と教員の全て、約 13,500 人を収録
- ・掲載項目は、現姓名(旧姓名、作家名など)  
郵便番号と現住所または連絡先、電話、所属・勤務先など(旧教員や現学生は姓名のみを収録)
- ・「資料編」として開学以来 135 年間の沿革、歴代学長、旧教員名簿、現教員名簿を収録
- ・体裁は、B5 版、たて型、現旧併用姓名 50 音索引  
約 470 ページ、口絵カラー写真付き
- ・発行日は、2015 年(平成 27 年) 7 月 1 日(予定)  
2,000 部限定発行

#### ●同封の回答シート「同窓生名簿 2015 掲載内容確認調査票」について

- ・現在同窓会象の会で把握、登録しております貴方のデータを

同封の「回答シート」に印字しています。誤りや変更のある場合は訂正してください。

- ・姓名以外で名簿掲載を希望しない項目があれば非掲載希望項目を○で囲んでください。
- ・訂正などの有無にかかわらず「回答シート」は、同封の返信用封筒で 3 月 31 日までにご返送ください。返信が無い場合は、訂正などが無いものとして印字データの内容で名簿に掲載いたしますのでご了承ください。
- 予約購入と代金の振込みについて
- ・名簿頒布価格は、1 冊 3,500 円(税・送料込)ですが、**予約購入は 1 冊 3,000 円(税・送料込)**にて頒布します。予約購入を希望される方は「回答シート」の下欄にあります「☐同窓生名簿購入予約します」に✓印をつけてご返信ください。併せて同封の郵便振替用紙の「同窓生名簿 2015 代金」に✓印をつけて 6 月 20 日までに近隣の郵便局から代金をお振り込みください。
- ・3 月 31 日締め切りの「回答シート」では予約されなかったが、その後予約購入を希望される場合は、同封の郵便振替用紙にて 6 月 20 日までに代金をお振り込みください。予約されたものとして取り扱います。
- ・2,000 部の限定発行(前回の名簿発行より 500 部減っています)です。無くなればその時点で頒布を終了します。



## 「同窓会象の会 総会」のご案内と出席のお願い

同窓会象の会の総会は、会員に出席をお願いし同窓会の重要な事項をお諮りするとともに多くの同窓生が一同に会して楽しく懇親交流を深める場として位置付けています。是非とも多くの同窓生にご出席、ご参加いただきますようお願い申し上げます。今回の総会開催概要は次のとおりです。

|     |                                                                  |
|-----|------------------------------------------------------------------|
| 日 時 | 2015年(平27)6月27日(土) 午前10時30分～                                     |
| 場 所 | ホテル日航プリンス京都 会議場・宴会場<br>京都市下京区烏丸通高辻東入北側<br>電話 075-342-2111        |
| 会 費 | 懇親交流会(食事付)<br>5,000円(郵便振替用紙で事前振込み)<br>＜役員会・総会のみ参加の場合は無料＞         |
| 内 容 | 役員会・総会 10:30～11:30<br>(予定) 記念講演 11:40～12:40<br>懇親交流会 13:00～15:30 |

- ・総会の出欠については「回答シート」の該当する□に✓印を付け、同封の返信用封筒で**3月31日**までにご返送ください。
- ・懇親交流会に出席される方は「回答シート」の下欄にあります「☐懇親交流会に出席します(予定も含む)」に✓印をつけてご返信ください。併せて同封の郵便振替用紙の「**懇親交流会費**」に✓印をつけてお近くの郵便局から**6月20日**までに会費をお振り込みください。
- ・**3月31日**締め切りの「回答シート」では懇親交流会の申込みをされなかったが、その後出席を希望される場合は、同封の郵便振替用紙にて**6月20日**までに会費をお振り込みください。出席されるものとして取り扱います。
- ・振り込んでいただきました会費は**6月24日(水)**までに欠席の連絡をいただいた場合、振込手数料等を差し引いて返金いたします。

## 「京都芸大同窓会アートフェア 2016」-京都市立芸術大学移転支援事業- の開催概要について

昨年の会報象でご案内しましたアートフェアの開催概要が決まりましたのでお知らせいたします。同窓生の皆様から多くの作品を出品(寄贈)いただきますようお願い申し上げます。詳しい開催要項は、今夏以降に準備できます。会報象の秋号で再度お知らせいたします。

前会報では、名称を「京芸同窓会アートフェア 2015」(仮称)としていましたが、開催時期が2016年になりますのでそれに合わせ「京都芸大同窓会アートフェア 2016」-京都市立芸術大学移転支援事業-を正式な名称としました。

- ・**趣旨**: 同窓生の皆様をお願いしてその作品を同窓会へ寄贈いただき、作品を「アートフェア」でオークション方式により販売して大学移転支援資金並びに同窓会活動活性化資金を捻出しようとするものです。
- ・**目的**: ①京都市立芸術大学同窓会活動の活性化と同窓生の親交を深める  
②京都市立芸術大学移転の広報・経済的な支援  
③京都の美術界の活性化に向けた刺激剤的役割を果たす
- ・**主催**: 京都市立芸術大学美術学部同窓会象の会
- ・**後援**(予定): 京都市立芸術大学、京都市、京都市教育委員会、京都商工会議所、NHK など

- ・**事業内容**: 京都芸大同窓会アートフェア 2016 (オークション)  
**会期** 2016年3月26日(土)～4月3日(日) <9日間>  
**会場** 京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA (アクア) 全館  
＜京都市中京区堀川通御池 北東角＞
  - a) オークションによる売上金は、諸経費を除いて京都市立芸術大学及び同窓会に寄付します。
  - b) オークションは、会場での入札と Web による全国に向けた公開オークションを行います。
  - c) アートフェアの出品作品を収録した図録を制作して出品者等に配布します。
  - d) オープニングレセプションの開催  
(アートフェア初日に会場で)
  - e) プレ展示の開催 プレス発表と本展示準備を兼ねて開催(本展示作品の一部を展示)  
2016年3月11日(金)～14日(月)  
京都芸術センター(フリースペース)  
＜中京区室町蛸薬師下る＞
  - f) 募集作品 約300点ほど(作品のジャンル、既・未発表は問わないがサイズ、重量等で一定の制限)
  - g) 募集期間(エントリー期間)  
2015年10月1日～2016年2月20日  
作品搬入等、具体的な詳細は会報象の秋号でお知らせします。
- ・**運営方法**: 同窓会に実行委員会を組織して運営を行います。  
(4月の予定)
- ・**企画運営**: ジ・オフィス 代表/辻喜代治(1973年塗装専攻卒)  
電話 075-371-8420



## 同窓生だより

### 戦後 70 周年を迎えて 「同窓生戦没者・追悼」 の紹介



「雨後」 野添草一



「たそがれ」 平田 守



「冬の庭」 小川 齋



「秋風」 弘田博三



「温室のある風景」 千熊 (茂森) 繁二



「早春」 落合 (西村) 興七郎

#### はじめに

1945年8月15日、日本の敗戦で第二次世界大戦が終結しました。あれから70年、戦争体験を持っている方も少なくなり、歴史上の出来事として認識されるほど過去の出来事になったようです。しかし、同じ過ちを繰り返さないため「歴史を学ぶだけでなく歴史に学ぶことが大切だ」と昔の賢人が言っています。我が母校、京都市立芸術大学がまだ京都市立絵画専門学校、同美術工芸学校であった時代、私達の先輩の多くが卒業とともに兵士として召集され、日本の敗色が濃くなると学徒動員で卒業を待つことなく前線に赴き、そのまま戦死や傷病死で帰らぬ人となりました。決して繰り返してはならない悲しい歴史を持っています。

「大学百年史」（308頁）にも《昭和14年の卒業式は侘しかった。生徒35名、教授10名ほどが広い講堂の前方にぱらっと並び、校長の挨拶も10分位で終わってしまった。式後教授の一人が「君達が可愛そうでならない。前途これからという画業を放って戦場に赴かねばならない可愛そうだ」と繰り返されたのがはなむけの言葉だった》と記録されています。

戦後53年を経た1998年11月4日、「絵専・美工同窓生戦没者追悼会」が開催され、それに先立って30ページの小冊子「追悼」が発行されました。この追悼会と冊子発行には実行委員会事務局の大原清氏（絵専日本画:昭20卒）が尽力されたので、氏に同窓生戦没者追悼の記事をお願いしました。しかし、ご高齢でかなわなかったため、先輩諸兄に深い哀悼の意を表し、会報編集委員会でその内容を紹介いたします。

<同窓生戦没者「追悼」は、同窓会事務局と大学図書館に各々1冊収蔵されています>

#### 戦没者追悼会とその経過 <実行委員会会長 幸野豊一>「追悼」より

私達の母校では在学中及び卒業後、戦争のため従軍し不幸にして犠牲になった同窓生に対して、今日まで追悼式を行っていませんでした。戦後、学校体制の変遷や学舎の移転など内外ともに変動があり、53年を経過してしまいました。

昨年夏同窓生の中から意見が出され、戦没者に対する追悼会について検討の結果、実施に踏み切ることとなりました。各卒業学年次から実行委員を選出して度々協議を重ね、芸大の同窓会よりも協力していただきました。

戦後の若い人たちには、理解され難い点もあると思いますが、同じ戦争体験を持つ私達の世代では、残された者の義務であると感じています。かつて学窓で共に学び、共に絵を描いていた私達の多くは、学業半ばにして召集され、絵筆を捨てて生命の危険すら顧みずに、与えられた任務の遂行に邁進しました。当時の国民全体はいやおうなく戦争政策に巻き込まれ、全て同じ極限の中では如何することもできない状態だったのです。

不幸にして敵弾に斃れ、あるいは病の冒すところとなった同窓生を思うとき、万感胸に迫り返す言葉もありません。絵が描きたい、もっと描き続けたいと思う、その望みが果たせなかった彼らの思いは、私達の胸に強く伝わってきます。

若い感性の芽を無残にもぎとった戦争とは一体なんだったのか、私達は反省しながら悔恨の念を抱えています。彼らも他の学徒と同様に、まさに戦争の犠牲者であると申せましょう。現在判明しているだけで同窓生の戦没者は百十名を越えていますが、まだ不明の人も残されています。年毎に遺族の所在も分らなくなり、同世代の同窓生も次第に少なくなって参りました。この機を逸しては今後追悼会の



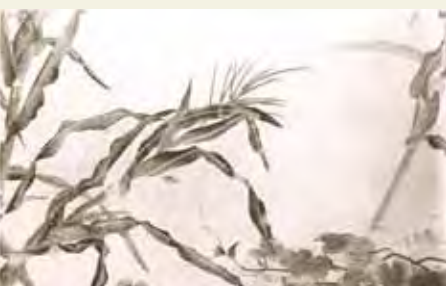
「丘の樹」吉岡茂夫



「洛東秋色」鈴木新造（新策）



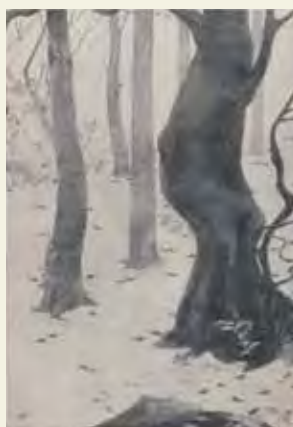
「ステンドグラス図案（耕作）」磯田豊治



「なんば」小野春男



「冬の日」神坂 寛



「森ノ中」泰 昌



「春隣」西山知良

戦没同窓生の遺作（「追悼」掲載のうち13作品：芸大付属図書館所蔵の卒業制作図録から）

開催は困難となり、時の流れと共に当時のものが風化されてしまう結果となります。

天命とは申せ若い命を国に捧げ悠久の大儀に殉じた戦没者は、正に今日の日本の平和を築き上げた礎であると申せましょう。私達は戦争の悲劇を繰り返さぬよう、平和な世界を確立することは残された者の使命であると思います。

この度の戦没者追悼会が無事開催できましたことは、関係各位のご理解とご協力の賜であり、実行委員諸兄の並々ならぬご尽力によるものと感謝し厚く御礼申し上げます。

## 「追悼」の内容

「追悼のことば」上村松篁

「追悼」西島安則（学長）

「同窓生戦没者追悼会に寄せて」上山春平

「諸先輩のご冥福と芸大発展にご加護を」上村淳之

他に追悼文=43筆

## 「追悼」掲載の戦没者名簿

123名（なお不明、不確実な面があります。敬称略）

大正2年卒/美工:塚本國太郎、昭和2年卒/澤田 實（石民）、昭和3年卒/小島七郎（気郎）、昭和4年卒/美工:森田富次郎、昭和5年卒/美工:岩村貞雄、江馬友一、昭和6年卒/西岡幸夫、美工:落合與七郎（旧西村）、昭和7年卒/美工:松室重信、昭和8年卒/美工:井上嘉章、上野順平、昭和9年卒/千熊繁二（旧茂森）、美工:来野月桂、鈴木 實、森富義典、昭和10年卒/梶山光樹、川島 洞、川瀬 正、中條康尚、福岡玉僊、南家有吉、

美工:青木重雄、井関英夫、岡本 上、徳田睦郎、中村泰造、中原 豊、松本 清、吉川萬壽雄、昭和11年卒/井上和雄、矢部榮男、美工:小倉隆一、西田藤太郎、三木 清、昭和12年卒/太田政信、吉良 清、長野正男、林 正弘、山中信夫、美工:太田敬一、松田石松、昭和13年卒/矢野 武、美工:竹岡義雄、田中正孝、宮島民治良、昭和14年卒/北村増次、衣川 潔、塩見四郎、清水久男、山本甚兵衛、美工:岡野一雄、杉本 正、中山貞次、南本好雄、昭和15年卒/小野春男、大場 豊、川口 清、神坂 寛、鈴木新造（新策）、野村 孝、松岡千秋、三木公正、美工:平井亨一、昭和16年3月卒/上野修三、加藤利男、河野道夫、高木清明、那谷正男、西山知良、泰 昌、平田 守、堀井敬三、山田武文、山田 浩、美工:泉亭俊長、磯田豊治、黒田光蔵、昭和16年12月卒/奥村俊郎、金島 隆、高橋三雄、田中兵部、中瀬 勇、橋迫長門、毛利駿一郎、森崎 勇、美工:井上 一、昭和17年卒/岩村 實、小笠原隆、菅原陶廣、玉川積善、南院 修、野添草一、弘田博三、牧野元胤、大和源治、阿部立人、石岡 徹、川口五郎、田中 昂、福井 勇、吉田立治、中村光之助、昭和18年卒/生田良五郎、伊藤三代治、小川 齋、川嶋清三、吉岡茂夫、大崎誠吾、楠田信雄、熊谷秀雄、種川政男、美工:西山 昭、松井 豊、松本 昭、昭和19年卒/大西 博、岡本輝雄、早川裕賢、松井久信、安井 清、昭和20年以降/池尻利男、中井俊一、長谷川匡男、宮本康二

（文責:代表幹事 野崎邦雄）

## 研究室だより

### 日本画研究室

西田 真人

日本画教員（1978年卒）

今年京都では「琳派400年」と銘打って様々な行事が企画されているようです。日本美術史を語る上で絶対にはずせない、琳派の画家、俵屋宗達、尾形光琳は京都で育ち、此处を拠点としています。美術史を駆け足で辿ると次の時代には円山応挙、そして竹内栖鳳と日本美術史上に大きな影響力を残した日本画家が京都の地で繋がっています。他の日本画家を挙げてみると限りありませんし、京都が美術史の上で重要な地であることは今更言うまでも無い事です。そんな日本画の制作技法、理論研究指導の役割を担うのが、この日本画研究室の使命と考えています。

ただ私がこの大学で学んだ40年程前とは、現在かなり状況が変化してきました。日本画と云う括りが揺らいでいます。1945年の第二次大戦後にも、日本画滅亡論などと叫ばれた時があり、ジャンル分けの再編の萌芽はあったものの、日本の経済が右肩上がり成長していったことで、文化面でも国民が自国の文化に自信を回復してゆく中では、日本画は恵まれた状況であったかもしれません。そんな雰囲気の中で私の学生時代は日本画と云う括りに大きな疑いを持つことなく公募展を目指しましたが、最近の発表機会の顕著な多様化、グローバル化、表現方法、内容、価値観の多様化で従来の括りでは収まらなくなり、混沌としてきています。

本学日本画専攻においても私自身、学生に指導する際に例に挙げる画家は半分以上が油画家だったりもします。指導する側の意識も変わってきています。また既にご存じのとおり10年程かけて大学の京都駅近辺への移転が決定しました。また先の2000年には修士課程に保存修復専攻が開設されたことで、日本画専攻の模写室の在り方を再確認することもありましたが、その担当を専任教員としては20年間指導されてきた宮本道夫教授が本年退官されます。これらの様々な状況の中、日本画専攻のカリキュラムも大きく変える時期が来たと、研究室皆の一致する事となりました。

前置きが長くなりましたが研究室便りとしては、新しい履修の流れをご報告させていただきます。この原稿執筆の時点ではまだ曖昧な部分もあり、新年度実施時点で多少の差異があるかもしれません。

従来の日本画履修の流れでは総合基礎終了後の後期から日本画画材に触れ、基礎教育に重きを置く本専攻では、決められた課題を順番に学んでゆくことで、必然的に同期の学生はそのままスライド式に一緒に上の回生へと進級する形態となりました。ただ日本画模写に特化したい学生は3回生から教室が変わってゆきましたが、そのことでややもすると制作と模写の指導が分化しがちとなりました。以下研究室の小島徳朗准教授が新しい履修の流れについて、まとめて下さったものをそのまま掲載させていただきます。

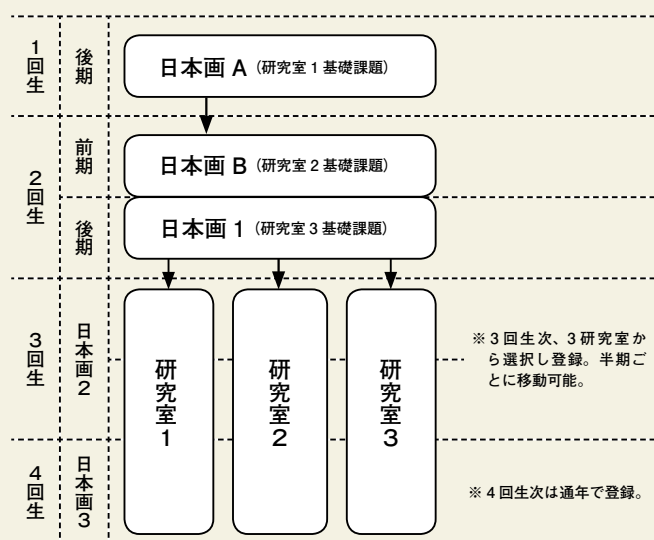
#### <履修の流れ>

総合基礎を経て日本画専攻を履修する学生はまず、「日本画A」に登録し一般的な日本画画材についての基礎知識を実践的に習得。その後、「日本画B」及び「日本画1」を履修し日本画画材を用いた表現方法の基礎を学びます。「日本画A」「日本画B」「日本画1」の単位を取得した学生は、それぞれの特性に合わせた表現の追及を行うべく、「研究室1」「研究室2」「研究室3」のいずれかを選択し履修します。この3コースは3回生次、半期ごとに自由に移動することができます。その後、4回生ではそのいずれかのコースを通年で登録し、卒業制作の準備を行います。

「研究室1(古画研究)」:近代以前の日本美術、ひいては歴史上日本美術に影響を及ぼしてきた異文化の古典絵画までを視野にいれ、その技法や様式を学びます。

「研究室2」:戦後から現在までの日本画表現を土台とし、現在認識されている日本画の技法・表現を学び、更に深化させることを念頭に制作研究を指導します。

「研究室3」:連綿と継続してきた日本画の伝統的技法及び解釈を前提に、現在から更にその先の表現はいかに可能か、実践的な制作研究を指導します。



上記の新しい履修の流れを大学移転と並行しながら練り上げてゆきますが、この中心的な立場で動いて下さるはずだった小池一範教授が亡くなられたことは誠に大きな損失です。学生の事をよく面倒を看、把握もされていた。19年になろうかという勤続年で大学の様々なことも把握できた頭脳明晰で感性の素晴らしい先生でした。その有能な人を失ったこと以上に非常に大きな悲しみを感じています。

最後に卒業生の皆様から日本画指導の在り方でご意見などお有りでしたら、研究室宛にお便りを下さい。



## 油画の院ゼミ

渡辺 信明

油画教員（1988年大学院修了）

油画専攻には専任教員が現在7名います。その各研究室には大学院（修士）の学生が院1・2回生を合わせて最大4名まで在籍し、こちらは学部とは違い基本的にゼミ形式で授業をおこなっています。

それで、今回少しお話をさせてもらおうと思っているのは、この少人数の大学院ゼミでおこなわれている、特殊演習（通称院ゼミ!）という授業についてです。通常の実技指導とは少し性格が異なっており、また個性的な教員によって毎回様々な取り組みがなされています。そこでは美術や絵画の高い専門性を追い求めるだけでなく、物ごとを幅広い角度から見る力と、大いなる精神的な遊びの実践がベースとなっているように思われます。

私は油画研究室に来て今年で10年目になります。小さな個人研



究室があるのですが、殺風景だった床に畳6枚を入れ、古いちゃぶ台をその真ん中に置いて院ゼミ（畳ゼミと言われています）をスタートさせました。この「机と椅子」ではなく「畳と座布団」という形式は人数の増減にも柔軟に対応でき、またちゃぶ台を挟んでの間合いの中に、新しい発想や感覚が行き交うことを大いに期待したからです。

今までに畳ゼミで行われてきた内容をいくつか紹介しましょう。そのひとつは「日常の中の美術批評」をテーマに作文（エッセイ）を持ち寄り、毎週1作をゼミ中に発表し、それをもとに議論するというものです。それは身の回りにあるモノ、コトに眼差しを向け、アートな感性で拾い上げ、言葉/文章として作品化し、カタチとして残す授業です。日頃の絵画制作に繋がる、美術家としての感性トレーニングを目的にし、最終的には各自が編集し装丁を含めたオリジナル本（複数製本します）にして提出します。タイトルも含め、いかに読者（不特定多数）に伝えることができるか、読み手を意識すること、しかも読み切りを前提としていることが特徴です。たとえば雑誌や新聞コラムに掲載されても基本OKであることが求められます。いわばちょっとした物書きとしての姿勢も必要になると言えましょう。その実践によって、文章自体が作品とリンクし出す学生や、初個展のサブタイトルに自分の本からタイトルを引用し、作者と作品、そして言葉がゆるやかに繋がったという例もあり、実制作だけでない作品へのアプローチのあり方を考えるいい機会にもなっています。

この授業内容は毎年前期に継続して行われ、過去先輩たちのエッセイ本が壁面に並ぶ空間で、また誰もが自由に手に取って読める場所として機能しはじめています。



それからもう一つ、昨年の後期におこなった「マイちゃぶ」授業。これはゼミ生からの積極的な提案で、自分のためのオリジナルなちゃぶ台を作り、その上で制作をしたドローイング作品で展覧会をするという内容でした。油画の学生にとっては慣れない電動工具を駆使しての授業のスタートとなりましたが、その長いプロセスの中で得られる身体的な感覚を通して、自分の制作にとっての重要なヒントとなって欲しいという気持ちがありました。そして絵画とちゃぶ台の一体化、遊びと驚きを具現化したような不思議なちゃぶ台たちが完成しました。学生たちはその小さな台の上でドローイング制作をし、時にはお茶を飲み、文字を書き、自分の中の世界の広がりを経験する、そんな授業に展開しました。

今回は他の研究室の院ゼミはご紹介出来ませんでしたが、それぞれの内容の独自性と取り組みはどれもユニークで、学生たちの新しい感覚を刺激するものです。いずれのゼミにおいても、教員間も院生同士も常に自由に行き来できる関係性を保ちながら、これからも特殊演習ならではの授業のあり方を模索していきたいと思っています。



# 会員展覧会

(2014年2月~2015年1月)

■ 同窓会にお知らせいただいた展覧会情報です。

## 会員作品展

<2014年>

|               |                          |                 |
|---------------|--------------------------|-----------------|
| 3/4 ~ 10      | 荒瀬隆造 油彩画展                | 高松三越            |
| 3/17 ~ 22     | 山田俊行展 - テンノカサナリ -        | GALLERY 白       |
| 5/3 ~ 14      | 大森翠展 Light in the forest | ギャラリー島田         |
| 4/11 ~ 6/22   | 金井良輔展 木彫 ペン画 水彩画         | 版画ざやらい 手風琴      |
| 6/3 ~ 8       | 岡田親彦 創作ガラス展「馬と蝶とあじさいと」   | 藤田美術館ホール        |
| 5/17 ~ 25     | 荒瀬隆造 油彩画展                | 御池画廊            |
| 5/27 ~ 6/1    | 山本六郎展                    | 池坊短期大学 洗心館      |
| 5/27 ~ 6/1    | 浅井敬二 個展                  | アーツスペース東山 ⑤     |
| 6/6 ~ 30      | 市川博一 陶展                  | Hakmokren       |
| 6/12 ~ 22     | 市川博一 作陶展                 | ギャラリー石堀小路和田 ③   |
| 6/17 ~ 29     | 吉岡千尋 muqarnas            | アーツスペース虹        |
| 6/24 ~ 29     | 前川秀治 銅版画展                | アーツスペース東山       |
| 7/7 ~ 13      | 森田玖吾 個展                  | GALLERY SHIMIZU |
| 7/12 ~ 23     | 井上よう子展 - 明日へ -           | ギャラリー島田         |
| 7/15 ~ 27     | むらたちひろ 時を泳ぐ人             | ギャラリー・パルク       |
| 7/21 ~ 27     | 二階堂忠展                    | ギャラリーくぼた        |
| 9/2 ~ 7       | 中井佳代子展 キラメクモノたちへ         | Galeria Punto ① |
| 9/14 ~ 27     | 仲摩洋一 resonance           | ギャラリーデン南山城村     |
| 9/29 ~ 10/4   | 寺脇さやか展                   | ギャラリー eyes      |
| 10/22 ~ 28    | 重岡良子展 -IMA 琳派II -        | 大丸京都店           |
| 10/1 ~ 11/2   | 京都嵯峨芸術大学の先人達 第7回 泉地靖雄展   | 京都嵯峨芸術大学付属博物館   |
| 11/1 ~ 12     | 河合美和展                    | ギャラリー島田         |
| 11/11 ~ 17    | 道原聡 絵画展                  | 広島三越            |
| 11/27 ~ 12/14 | 佐野 賢 個展                  | ギャラリーかもがわ       |
| 11/29 ~ 3/29  | 川端彌之助作品展                 | 長谷川歴史・文化・交流の家   |
| 12/3 ~ 12/8   | 河野裕子作品展                  | art Truth       |
| 12/31 ~ 1/13  | 黒川雅子 日本画展 - 舞宴 -         | 大丸京都店           |

<2015年>

|           |                |             |
|-----------|----------------|-------------|
| 1/17 ~ 22 | 金井良輔展 彫刻 素描 水彩 | TOR GALLERY |
| 1/13 ~ 25 | 渡邊野子展          | ギャラリー a     |

## 会員グループ展

<2014年>

|             |                                                                                                                                        |                |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 2/26 ~ 3/17 | 3.11 ミニアチュール ART 展 2014 ギャラリーかもがわ                                                                                                      |                |
| 3/18 ~ 23   | 第38回 Q 人の作品展 宇井恭子、奥田正子、奥田迪、貴志早苗、永谷正二、吉田恵美子                                                                                             | 京都府立文化芸術会館     |
| 3/24 ~ 30   | 第28回象展<br>青木弘年、安藤邦典、岡田宏三、河野裕子、竹井昌子、寺田茂樹、中越出、中島智恵、二階堂忠、平島光、藤田清照、古川睦子、前垣内輝行、水沼伴次、水速信孝、宮島みどり、村上幸子、森ふじ代、安森正子、柳和子、柳田輝子、山崎和代、山本加代子、吉田敏子、依田鏡子 | ギャラリーくぼた ⑥     |
| 5/6 ~ 11    | Ge 展 井上よう子、木村嘉子、杉浦美佐緒、田中一好、文田雅夫、三輪なつ子、森本岩雄 他                                                                                           | 京都市美術館         |
| 5/13 ~ 15   | ヌフ展<br>サトーキミエ、東榎口美智子、古川睦子、宮島みどり、柳田輝子、山崎和代、山本加代子、依田鏡子                                                                                   | 京都府立文化芸術会館 ④   |
| 6/3 ~ 8     | 2014 (第26回) 花と土と人展 京都市立芸術大学美術教育研究会東海支部                                                                                                 | セントラル・アートギャラリー |
| 7/21 ~ 26   | いきづく空間 - エディション考 長谷川睦 他                                                                                                                | ギャラリー白         |
| 7/22 ~ 27   | 2014 双線美術 京都支部展 京都市立芸術大学美術教育研究会京都支部                                                                                                    | ギャラリー吉象堂       |
| 7/25 ~ 30   | 第26回 4B 展 京都市立芸術大学美術教育研究会兵庫支部                                                                                                          | 南天荘画廊          |
| 7/26 ~ 8/6  | ミニチュール神戸展 vol.14 小曾根環 他                                                                                                                | ギャラリー島田        |
| 7/26 ~ 8/24 | 尼崎アートフェスティバル 2014 小曾根環 他                                                                                                               | 尼崎市総合文化センター    |
| 8/24 ~ 31   | 201 4CAF.N びわこ展 初田寿、並河富美代、笹部紀子、池田丈一、藤原みどり 他                                                                                            | 大津市歴史博物館       |
| 9/1 ~ 13    | Painterliness 2014 小田中康浩、河合美和、善住芳枝、中島一平、渡辺信明 他                                                                                         | ギャラリー白         |
| 9/9 ~ 15    | 2014 滋賀双線美術展 京都市立芸術大学美術教育研究会滋賀支部                                                                                                       | 滋賀県立近代美術館      |
| 9/16 ~ 21   | 39th GOOD ART exhibition 「愛」接近中 吉田孝光 他                                                                                                 | 京都市美術館         |

<2015年>

|             |                                                                                            |         |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 1/13 ~ 2/15 | 京都市立美術大学染織専攻の光芒 Part2 転換期の作家 10 人展<br>井隼慶人、加藤正二郎、新道弘之、高谷光雄、田島征彦、田中千世子、内藤英治、長尾紀壽、奈良平宣子、吉田晃良 | 染・清流館 ② |
| 1/11 ~ 2/17 | 第52回 大阪双線美術小品展 京都市立芸術大学美術教育研究会大阪支部                                                         | 大阪現代画廊  |
| 1/27 ~ 2/1  | 会員作品展 2015 茨木佐知子、内田勇一、片山晋、辻野宗一、天坊早希、前田亜美、吉田孝光 他                                            | ギャラリー中井 |



①



②



③



④



⑤



⑥

美術科日本画研究室

## 宮本 道夫

### 「供養者」こそ壁画の魅力！

2014 年 8 月、中国敦煌研究院で 3 週間の講座を持った。

中国各地から集まった 30 余名を対象に日本画の模写技法を教示した。

私も受講生と共に、対象に第 329 窟東壁「女供養人」を選び、壁画模写制作を行った。

仏画は仏典に則った尊像を描く。尊像の下部や横に仏典に制約されない供養者像が存在する。その場合彼らは石窟造営の寄進者である。寄進者の意向に添い、美しい女性や凛々しい男性に描かれ、衣服や装飾品などに身分を示し、佇まいなども画工の筆意により如実に表現される。



名称：敦煌莫高窟第 329 窟東壁南側説法図 下部「女供養人」  
時代：初唐代 サイズ：26 × 18cm  
模写制作年：2014 年 8 月  
模写者：宮本 道夫

模写対象に選んだ“小さな少女像”を見続けることで浮かび上がってくるものがある。焦げ茶色の変色を単に汚れと見過ごさず痕跡とみなせば、耳飾りや胸飾り、少女の結髪のおおよその輪郭、絨毯や衣服の文様などの存在は推測できる。受講生達には驚きの発見である。

非言語領域である絵画体験を学問的に言語化し議論していくことは今の時代の課題である。模写者の視点から、その時残しておきたい体験として、作画行為を理性的であるよりも感性や実感を主体とした心性で言葉にできないかと思う。

「女供養人」の模写と講座は大学における私の最後の研究になった。

総合芸術学科芸術学研究室

## 定金 計次

本学美術学部採用され、丁度 30 年を経て 3 月末で退任となる。色々思う所があるものの、研究に絞ったことを書かせて戴く。

採用された 1985 年 4 月は、インド留学を終えて一年余り経過していた。学部生の頃からインド美術を専門として来たが、基礎が出来ているとは言えない状況で、留学する前辺りから独自の課題がやっと見え始めつつあった。1981 年 12 月からほぼ 2 年に亙る留学は、その課題に従うつもりであった。しかし現地調査を重ねて見ると、早い作例が殆ど残らないものの、絵画の重要性に気が付いた。私の研究の独自性は、彫刻と絵画両方を対象とする所にある。

本学において研究と教育に携わりつつ、留意した点がもう一

アジャンター第 16 窟左廊壁画  
(インド古代壁画完成期の一流画家による)



つある。ファンには申し訳ないが、落語家三代目桂春団治になってはいけないということである。教育のためには研究を深めなくてはいけない。掘り下げは言わば手作業によるため、範囲を広げて初めて深く掘れる。桂米朝までは行かないが、持ちネタを増やす必要があると考えたのである。

以上の姿勢で研究と教育を行って来た。研究が難しいインド美術史で解明出来たことが幾つかある。一つ挙げれば、永く中心的研究対象であったアジャンター壁画の中に、古代壁画完成期の一流画家の絵が残ることを見出したことである。本学において、そのように恵まれた研究環境が与えられたことに感謝している。

デザイン科プロダクトデザイン研究室

## 小山 格平



平成 8 年の 4 月に着任以来 19 年間にわたり、京都芸大にお世話になりました。歳を重ねるとごとに時の過ぎて行くスピードが速くなっていくといわれますが、本当にあっという間の 19 年でした。同窓会の学内委員になりましたのは、前任の学内代表幹事佐野賢先生が退任された後を引き継ぎましたので、7 年ほどになります。その間創立 130 周年の記念チャリティー展覧会や初めての学内で開催する同窓会総会等様々なイベントがありましたが、学内外の役員の皆様、また同窓生の方々のご協力でなんとかやってまいりました。なかでも 2 年前から始まりました芸大祭での模擬店「象の店」の出店は思い出深いものとなります。これも多くの同窓会委員のご協力のもと準備や模擬店の運営等、特に代表幹事の野崎様には大変お世話になり感謝いたしております。

ます。

普段、学生達には「授業時間中に芸祭の準備をするな」とか「模擬店の設営を一週間以上前からするな」等と言っておりましたが、今だから言えますが、結構前から象の店の準備等をしておりました。芸祭に向けての学生達の気持ちが改めてわかりましたし、自身も学生の頃を思い出させるイベントでした。この芸祭での模擬店出店は、学生や若い卒業生と我々世代の同窓生とを結びつける良い機会でもあり、今後もこのような場は是非続けていただきたいものです。同窓会が若い世代の卒業生を巻き込んで、増々活発な活動の場になりますよう心より願っております。

最後になりましたが、永年にわたって同窓会事務局をご担当頂いております開本様にも大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

## 2014 年度芸大祭「象の店」

昨年（2014）11月1日（土）～3日（月）の3日間、同窓会として2回目となる「象の店」をオープンすることができました。今年も、店主＝上村淳之会長に3日間、店に詰めていただき、同窓生を始め教職員、学生諸氏、市民の方々の千客万来で大いに賑わいました。



# 資料 (学内消息)

(2014 年 1 月～12 月)

|                   |                                                                                           |                      |                                                                                                                                                                       |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 月 4 日～1 月 21 日  | 石橋義正准教授, ドイツ・スペインにて研修                                                                     | 7 月 5 日～8 月 8 日      | 芸術資料館収蔵品展「歴史の贈り物」第 3 期学生企画展「消えた胸像を追って―幸野模範像と美工の彫刻家たち―」(芸術資料館)                                                                                                         |
| 1 月 7 日～1 月 15 日  | Collection/Connection―マヤ・アムデス染織につらなる新しいカタチ―(京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                         | 7 月 7 日              | 森村泰昌客員教授特別授業「ヨコハマリエンナーレ 2014」                                                                                                                                         |
| 1 月 11 日～1 月 25 日 | 織×巻 GALLERY GALLERY EX                                                                    | 7 月 12 日～7 月 13 日    | ART OSAKA 2014 (ホテルクラウンヴィア大阪)                                                                                                                                         |
| 1 月 11 日～1 月 26 日 | @KCUA 応援企画 谷中佑輔個展「Galatea」(京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                          | 7 月 19 日～8 月 3 日     | 総合基礎実技作品展 (中央棟大ギャラリー)                                                                                                                                                 |
| 1 月 11 日～1 月 26 日 | Makingroom―田村光義とその教え子たち(京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                             | 8 月 2 日～8 月 11 日     | 「京の七夕」竹と光と友禪のアート作品について (二条城及び堀川遊歩道)                                                                                                                                   |
| 1 月 12 日～1 月 26 日 | 鶴田憲次教授退任記念展―SERENDIPITY (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                            | 8 月 3 日              | 美術学部オープンキャンパス (本学構内)                                                                                                                                                  |
| 1 月 18 日～1 月 19 日 | 2014 年度大学入試センター試験                                                                         | 8 月 5 日～8 月 10 日     | 京都市立芸術大学サマーアーツスクール 2014 (大学構内)                                                                                                                                        |
| 1 月 18 日～1 月 26 日 | 奥行き感覚展 (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                                             | 8 月 5 日～8 月 15 日     | 深谷訓子准教授, ドイツにて研修                                                                                                                                                      |
| 1 月 21 日～2 月 4 日  | 藤井良子講師, バリにて研修                                                                            | 8 月 6 日              | 夏休み子ども写生大会 (京都市動物園)                                                                                                                                                   |
| 2 月 1 日～2 月 16 日  | 京都芸大博士展 (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                                            | 8 月 8 日～9 月 4 日      | 宮本道夫教授, 中国にて研修                                                                                                                                                        |
| 2 月 12 日～2 月 16 日 | 2013 年度卒業・修了作品展 (京都市美術館及び本学構内)                                                            | 8 月 9 日～8 月 24 日     | COLORS OF KCUA2014 [INVITATION―浮遊する意識―] (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                                                                                        |
| 2 月 18 日～2 月 20 日 | 京都芸大「境谷小学校レジデンス」京都市立境谷小学校平成 25 年度作品展 (境谷小学校体育館・アーツベース・コミプラ洋室)                             | 8 月 18 日             | アートで育む心と学力・教育としてのアート - (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                                                                                                         |
| 2 月 22 日～3 月 9 日  | 清田泰寛展 雷雷抱雷雷 (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                                        | 8 月 22 日～8 月 31 日    | 法貴信也准教授・小島徳朗准教授二人展「Cracking the Code」(京都芸術センター)                                                                                                                       |
| 2 月 22 日～3 月 9 日  | 京都市立芸術大学美術学部同窓会展―予兆 1960 年代を中心― (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                    | 8 月 23 日～9 月 1 日     | 高林弘実講師, 中国にて研修                                                                                                                                                        |
| 2 月 25 日～2 月 26 日 | 2014 年度美術学部入学試験                                                                           | 8 月 25 日～9 月 15 日    | 赤松玉女教授, イタリアにて研修                                                                                                                                                      |
| 3 月 1 日～3 月 23 日  | ARTIST WORKSHOP@KCUA「CITY IN MEMORY 記憶の街」(堀川団地)                                           | 8 月 25 日～9 月 5 日     | 深谷訓子准教授, オランダにて研修                                                                                                                                                     |
| 3 月 1 日～3 月 23 日  | ARTIST WORKSHOP@KCUA「WORK IN MEMORY」(堀川団地)                                                | 8 月 26 日～9 月 8 日     | 加須屋明子准教授, ポーランドにて研修                                                                                                                                                   |
| 3 月 3 日           | 2014 年度大学院美術研究科博士 (後期) 課程入学試験                                                             | 8 月 26 日～9 月 20 日    | 定金計次教授, インドにて研修                                                                                                                                                       |
| 3 月 6 日           | 2014 年度美術学部・大学院美術研究科博士 (後期) 課程入学試験合格発表                                                    | 8 月 27 日～9 月 7 日     | 五カ国の芸術大学学生によるイラストレーション展 gourmandise (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                                                                                            |
| 3 月 14 日          | 特別授業プロジェクト 森田りえ子客員教授「花らんまん〜絵にするまゑ・あと〜」(香雪美術館)                                             | 8 月 27 日～9 月 7 日     | 芸術資料館収蔵品展「ART であしあと 5―壁を魅せる」(京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                                                                                                    |
| 3 月 14 日～3 月 22 日 | 宮本道夫教授・松井紫朗教授・小山田徹教授, 中国にて研修                                                              | 9 月～27 月 6 月         | 日下部雅生准教授, イギリスにて研修                                                                                                                                                    |
| 3 月 15 日～3 月 30 日 | 木村秀樹教授退任記念展―Charcoal (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                               | 9 月 1 日              | 楠田雅史講師新任                                                                                                                                                              |
| 3 月 15 日～3 月 30 日 | 叶道夫教授退任記念展叶道夫松谷展 (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                                   | 9 月 3 日～9 月 17 日     | ひろいのぶこ教授・藤井良子講師, ヘルシーにて研修                                                                                                                                             |
| 3 月 20 日～3 月 23 日 | 浅野均教授, 中国にて研修                                                                             | 9 月 7 日～9 月 13 日     | 重松あゆみ教授, アイルランドにて研修                                                                                                                                                   |
| 3 月 24 日          | 2013 年度卒業式・学位記授与式                                                                         | 9 月 7 日～9 月 15 日     | 秋山陽教授, アイルランドにて研修                                                                                                                                                     |
| 3 月 26 日～4 月 4 日  | 大矢一成講師, アメリカにて研修                                                                          | 9 月 9 日～9 月 15 日     | 栗本夏樹教授, ミャンマーにて研修                                                                                                                                                     |
| 3 月 27 日～4 月 1 日  | 栗本夏樹准教授・笹井史恵講師, フランスにて研修                                                                  | 9 月 11 日～9 月 16 日    | 加須屋明子准教授, ポーランドにて研修                                                                                                                                                   |
| 3 月 31 日          | 鶴田憲次教授, 木村秀樹教授, 池上俊郎教授, 渡邊眞教授, 魚住洋一教授, 叶道夫教授退任                                            | 9 月 13 日～9 月 21 日    | 東日本大震災復興支援・芸術活動支援チャリティーオークション「サイレントアーク 2014」(京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                                                                                    |
| 4 月 1 日           | 伊藤存講師, 吉岡俊直講師, 永楽善五郎特任教授, 砂山太一特任講師新任                                                      | 9 月 13 日～9 月 28 日    | 大塚朝子個展「Your ghost is fine」(京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                                                                                                      |
| 4 月 10 日          | 2014 年度入学式                                                                                | 9 月 16 日～9 月 21 日    | 金氏徹平講師, シンガポールにて研修                                                                                                                                                    |
| 4 月 24 日～4 月 27 日 | 東京アートアンティーク参加事業「染の学び者〜表現の明日〜展(京都館)                                                        | 9 月 23 日～10 月 26 日   | 芸術資料館収蔵品展「歴史の贈り物」第 4 期「精霊のかたち―バブ・アニューギニアの絵画と土器―」                                                                                                                      |
| 4 月 12 日～5 月 11 日 | @ KCUA presents: Showcasing You! #3 しやまざき個展「ビデオガールやまざき」(京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)             | 9 月 24 日～9 月 30 日    | 金氏徹平講師, スイスにて研修                                                                                                                                                       |
| 4 月 12 日～5 月 11 日 | 京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA 開館 5 周年特別企画展 京芸 Transmit Program#5 PLAY HARD! (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA) | 10 月 1 日～12 月 31 日   | 2014 年度 ロイヤル・カレッジ・オブ・アート (イギリス), ノヴァス・コシア美術大学 (カナダ), ポザール・パリ (フランス), アールデコ・パリ (フランス), アールト大学 (フィンランド), ミラノ工科大学 (イタリア), 中央美術学院 (中国), シドニー大学美術学校 (オーストラリア) 交換留学生派遣及び受入れ |
| 4 月 15 日～5 月 18 日 | 芸術資料館収蔵品展「歴史の贈り物」第 1 期「更紗・インドネシアの蠟染」(芸術資料館)                                               | 10 月 4 日             | ニュイブランシュ KYOTO2014 〜パリ白夜祭への架け橋〜現代アートと過ごす夜― (京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA)                                                                                                      |
| 4 月 17 日～4 月 23 日 | 横田学教授, 韓国にて研修                                                                             | 10 月 9 日～10 月 16 日   | 浅野均教授, 中国にて研修                                                                                                                                                         |
| 5 月 14 日～5 月 25 日 | 「COM・MIX 新海治・向井吾一展」(京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                                 | 10 月 10 日～10 月 22 日  | 藤井良子講師, スウェーデンにて研修                                                                                                                                                    |
| 5 月 21 日          | アラヤー・ラートチャムルンスック 特別授業 (大学会館交流室)                                                           | 10 月 11 日～11 月 16 日  | FLOW「水は何をつなぎ、何処に行くのか」(京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA)                                                                                                                            |
| 5 月 22 日～5 月 25 日 | 五芸祭 (愛知県立芸術大学)                                                                            | 10 月 31 日～11 月 5 日   | 秋山陽教授, アメリカにて研修                                                                                                                                                       |
| 5 月 22 日～6 月 2 日  | 加須屋明子准教授, オランダ・ポーランドにて研修                                                                  | 11 月 1 日～11 月 3 日    | 2014 年度京都市立芸術大学祭                                                                                                                                                      |
| 5 月 24 日～6 月 29 日 | 芸術資料館収蔵品展「歴史の贈り物」第 2 期模写の系譜―入江波光と林司馬― (芸術資料館)                                             | 11 月 1 日～12 月 7 日    | 芸術資料館収蔵品展「歴史の贈り物」第 5 期「写生に学ぶ―日本画と素描―」(芸術資料館)                                                                                                                          |
| 5 月 25 日          | Live Paint DOJO 2014 in KYOTO (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)                                      | 11 月 9 日～11 月 14 日   | 2015 年度大学院美術研究科修士課程入学試験                                                                                                                                               |
| 5 月 27 日          | 横尾忠則客員教授特別授業「横尾忠則〜自作を語る〜」(中央棟 L1 教室)                                                      | 11 月 20 日            | 2015 年度大学院美術研究科修士課程合格発表                                                                                                                                               |
| 6 月 14 日～7 月 27 日 | 京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA 開館 5 周年記念展アビチャップン・ウィーラセタクン個展―PHOTOPHOBIA― (京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA)     | 11 月 21 日            | 京都市立芸術大学・韓国芸術総合学校交流協定締結記念 キム・ボンギョル(韓国芸術総合学校 学長) 特別授業「建築に展開する思想と世界観―韓国における思想の発展と建築の変化―」(新研究棟 大会議室)                                                                     |
| 6 月 14 日～7 月 27 日 | ミヤギトシ展「American Boyfriend:Bodies of Water」(京都市立芸術大学ギャラリー @ KCUA) (堀川団地)                   | 11 月 22 日～12 月 7 日   | 京都市立芸術大学 日本画専攻「京都芸大日本画の現在―カリキュラム―」(京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA)                                                                                                               |
| 6 月 19 日          | 沖啓介氏特別授業「予測できない ART.MONEY.LOVE」                                                           | 11 月 22 日～12 月 17 日  | 金氏徹平+Tom Woolner +山本麻紀子 3 人展「舞台がぼんやり見えてきた」(京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA)                                                                                                       |
| 6 月 24 日          | 「なみのこえ / 新地町」上映トーク (サイレントアーク実行委員会企画) (中央棟 L1 教室)                                          | 11 月 27 日            | ミア・M・モチヅキ氏特別授業「日本最初の西洋美術史家・矢代の方法論と美術史における場所の問題」(大学会館交流室)                                                                                                              |
| 6 月 24 日～7 月 6 日  | ひろいのぶこ教授, フランス, ベルギーにて研修                                                                  | 11 月 29 日～12 月 2 日   | 藤本英子教授, 台湾にて研修                                                                                                                                                        |
| 6 月 27 日～7 月 3 日  | 出原司教授, ベルギーにて研修                                                                           | 12 月 10 日～12 月 21 日  | 京都市立芸術大学第 25 回留学生展 (京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA)                                                                                                                              |
| 6 月 30 日          | 関口時正氏特別授業「カントル―私と絵画と演劇の三角関係」                                                              | 12 月 10 日            | 金氏徹平講師, イタリアにて研修                                                                                                                                                      |
| 7 月 1 日           | 創立記念日                                                                                     | 10 年後の京芸大生 (大学会館交流室) |                                                                                                                                                                       |
| 7 月 1 日～7 月 27 日  | 日下部雅生・今井裕之二人展「宙(そら)」(京都万華鏡ミュージアム姉小路ギャラリー)                                                 | 12 月 12 日～12 月 28 日  | あれからの、未来の途中―(美術・工芸・デザインの新鋭 12 人) (京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA)                                                                                                                |
|                   |                                                                                           | 12 月 23 日            | 「THE GIFT BOX アーティストが提案する特別なギフト」THE GIFT BOX! (京都文化博物館別館ホール)                                                                                                          |

### ■「ニセ名簿業者」にご注意を

「京都芸大の名簿・名鑑を作成します」と法外な値段で勧誘してくる業者が増えています。5年前も多く同窓生が、本人もそれと気付かないくらい言葉巧みな誘いで被害にあっておられます。同窓会からの案内は、同窓会の住所や電話番号が正しいことを必ず確認して対応ください。不審な点は同窓会へ電話などで直ぐにお問合せください。

### ■ 音楽学部同窓会 真声会との交流について

同じ芸術大学に存立する二つの同窓会が2年前から情報交換と交流を目的に年2回定期的な連絡会議を持っています。正副会長と代表幹事、事務局レベルの会議で大学移転など全学的な課題に同窓会の関わり方などを中心に協議しています。

### ■「同窓会象の会 会員カード」の発行について

昨年の役員会で今年度事業計画にあげていましたが、準備不足もあって今年度中には発行できなくなりました。1年間延期して発行するよう務めますのでご容赦ください。

### ■ 満80歳以上の会員 会費免除申請について

過去10年間同窓会会費を継続して納入いただいた満80歳以上の会員で会費免除を希望される方は、その旨、同窓会事務局へメール、FAX、郵便などでお申し出ください。

### ■ 同窓会会費納入のお願いと終身会費制の移行について

同窓会は皆様の会費によって運営されております。年1,000円、2年分まとめて2,000円として納入をお願いします。

2014年3月に卒業・修了された会員から希望者に会費の「終

身会費制」を実施していますが、既会員にも希望者には「終身会費制」への移行ができる暫定期間（2014年4月～2016年3月末）を設けております。前回の会報でもご案内しましたが既に多くの会員が終身会費制に移行されております。この機会に終身会費に移行を希望される方は終身会費3万円と既納会費の差額を納入いただければ終身会費納入済となり今後は会費を納めていただく必要はなくなります。但し、事務局では把握できる会費納入履歴は過去20年が限度です。過去20年以上会費を納めておられる方の「終身会費制」移行は申し訳ありませんが、1万円の納入が必要ですのでご了承ください。

### ■ 同窓会の後援名義使用について

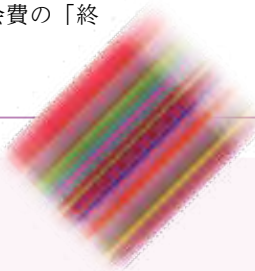
同窓会会費を納入されている会員が主催する作品展など（個展、グループ展）で同窓会の後援名義使用を希望される方は同窓会事務局へご連絡ください。

### ■ 展覧会の案内、情報をお寄せください

同窓会宛に送っていただいた展覧会の案内、情報はホームページや会報に掲載させていただきます。

### ■ 氏名、住所、電話、FAXなどを変更されたときは連絡をお願いします

お忘れになると会報などの諸情報をお届けできなくなります。表紙ページに記載の連絡先へ郵便、FAX、メールのいずれかの方法でご連絡ください。ホームページの住所変更フォームから変更できます。



## 編集後記

● 今回より「会誌象」の流れを継ぐ内容の編集となりました。教員の退任あいさつ、研究室だより、学内消息、会員消息がその流れを引き継いだ部分です。「会誌象」に掲載していました新任教員の紹介と芸大作品展の「同窓会賞」受賞者紹介は、9月発行予定の「同窓会報象」で取り上げますのでよろしくお願いいたします。

● 同窓生だより「同窓生戦没者・追悼」では、芸大図書資料館から当時の卒業制作集、卒業制作図録をお借りしました。それぞれ保管されているのは1冊ずつのみという大変貴重な資料です。昭和6年からの図録では、戦況が厳しくなるにつれ、紙質が悪くなっていき、昭和18年の図録はまるで新聞紙のように薄い紙質で、それを最後に図録さえ発行されなくなったそうです。その後、再び卒業制作図録が作成されるようになったのは、戦後もずいぶん経った昭和56年

ということです。当時の作品写真から溢れ出る創作への情熱は、いつの時代のものといささかも変わりはなく、ただ、戦争に翻弄された画学生の無念の思いがひしひしと伝わってくるようでした。

● 今年度の芸術資料館展覧会案内を掲載する予定でしたが、資料館の準備の都合により掲載できませんでした。3月には展覧会内容が決まりますので、資料館（TEL075-334-2232）に直接お問い合わせください。次号（9月発行）では今年度後期の展覧会予定を掲載いたします。

● 京都芸大移転支援事業「同窓会アートフェア2016」開催内容も徐々に決まってきました。予算化も含め、6月開催の役員会・総会に諮る予定です。成功に向けて同窓生の皆様のご協力をお願い申し上げます。

（会報編集委員長：阿部 緑）